



ひまわり組だより 3月号



平成30年 3月20日 ことり保育園

担当: 島田

ほかほかの暖かい日も増え、少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。ひまわり組での生活も残りわずかとなり、子ども達も進級に期待を膨らませています。

さて、「お別れ会」を卒園思にプレゼントするオペレッタを行ないました。配役の発表では、ねずみ役になった子が「チュウチュウ」と鳴き真似をして喜びを表現していました。その流れでおじいさん役を伝えると、鳴き声が思いつかなかったのか少し間が空いてから、「えっと...や、たー」と嬉しそうにしており思わず笑ってしまいました。練習では、ステージの袖に隠れると秘密基地のように感じられるためか、騒がしくなってしまう、自分の出番を述してしまうことも多くありました。しかし回数を重ねるうちに、進行具合を耳で聞いて、次の出番の人が前になるように自分達で並べるようになりました。少しでも空き時間があると、役になりきってオペレッタの振り付けを踊ったり歌をうたったりと自主的に練習する姿も見られ、本番ではその努力の成果を発揮出来ました。

また、卒園式の合同練習でひまわり組さんの姿勢などの素晴らしさに触れ、普段の生活でも格好良くしようと頑張る子が増えてきました。さまざまな場面で自ら考え、行動する力が身についてきたことを感じ、嬉しく思います。

至らぬ点も多かったと思いますが、保護者の皆さまにはたくさんのご理解、ご協力を賜り、本当にありがとうございました。子ども達の成長をそばでたくさん見ることが出来て、素敵な一年になりました。